

工学部学生のみなさんへ

工学部とは、自然科学で得られた知見を基に、人類の幸福に資する知識や技術を身につけたエンジニアを育成するところです。

自然科学と技術に関する基礎知識を適切に応用できる能力を養うことが、工学部学生に求められます。そのためには、基礎知識の確実な習得と幅広い分野の理解が必要です。

また、生命・医学の分野で端的に現れているように、人類の福祉に対する正しい理解力、科学技術が人間社会や自然環境に及ぼす影響・効果についての想像力・倫理観・責任感をもち、総合的な判断が下せるエンジニアになることが望まれています。そのためには、理工系のみでなく、文科系の知識も必要です。さらに、国際化やIT（情報技術）の進展により、変化の激しい今日においては、社会の変化に柔軟に対応して、国内外で通用するコミュニケーション能力や、生涯を通して学習し続ける持続力も必須となります。

工学部では、このような社会からの要請に応えられるようなエンジニアを育成するための充実した教育課程を用意しております。『履修要覧』と『^{シラバス}Syllabus』を有効に活用して、未来を切り開く礎となる講義、実験・実習内容をよく検討して履修計画を立て、十分な準備を持って授業に臨んで下さい。教育の制度として、高校までは授業時間のみで内容が理解できる講義になっていました。しかし、大学では授業時間の他にその2倍の自習時間を含めて理解する内容になっています。つまり、自学（自ら学ぶこと）が主体になるということです。このことを念頭において、不断の努力で自らの能力を高めていただきたいと思います。よく学べば、必ず報われる時が来るでしょう。

また、学修と併せて、大学時代の色々な出来事や様々な人々との出会いが、人生を豊かにしてくれることも忘れないで下さい。そのためにも、学生時代を有意義に過ごし、良い思い出を沢山残して欲しいものです。21世紀を迎えて、工学部学生に寄せられる社会の期待は大きいものがあります。工学部の全教員は、みなさんが本学を卒業して社会の様々な分野で活躍されることを強く望んでいます。

工学部長

林 憲 玉